

平成元年十月十日発行

第二五一号

大豊町中央公民館編集
印刷高知印刷株式会社

大豊

大豊町中央公民館報

九月末の人口 世帯数

世帯 三二二八戸

男 三九四二人

女 四三七二人

人口 八三二四人



秋の気配がする旧立川番所書院（国・重要文化財）

さあ「秋」本番……

味覚の秋です

スポーツに、読書に、芸術に、
そして行楽に、皆さん「この秋を」
大いにエンジョイして下さい。

十月・十一月の主な行事

○十月十五日 大田口地区運動会

○十月十五日 豊永地区運動会

○十月十五日 東部地区運動会

○十月十五日 東豊永地区運動会

○十月十五日 西峰地区運動会

○十月二十一日・二十二日

町産業祭・大杉しめ縄祭り

○十月三十一日 老人と身障者

の運動会 大杉中学校体育館

○十一月五日 町民体育祭

大杉 農村広場

○十一月十二日 町民文化祭

大豊中学校

○十一月十八日 町PTA大会

天坪小学校体育館

穴内地区公民館から御案内

十二月三日・穴内地区の文化

祭を計画しています。皆様方

さそいあって下さい。

場所・穴内小中学校



あいさつをする社会福祉協議会長 宮内正男

第九回大豊町社会福祉大会

「盛大に開催」

「心ふれあう福祉の町づくり」をテーマとして、町社会福祉協議会（会長 宮内正男）が主催。各地区からボランティアの方々や老人クラブ会員など、五百人余りが参加し、去る八月二十七日、農工センターで開かれました。

午前九時三十分より開会式典が行なわれ各地域で社会福祉活動に貢献された方々に対し、表彰や感謝状が贈られました。

そして町の福祉活動推進校に指定されている東豊永小学校五年生 三谷裕子さんと大杉中学校三年生 藤原絵理さんが、社会福祉活動について発表、つづいて県総合保健センター長 高島正臣先生の「いつまでも若く美しく」と題した記念講演があり、午後からは演芸大会が行なわれ、各地区の老人クラブ会員やボランティアらが、歌や踊りなどを熱演、会場からは祝儀などが飛ぶなど大喝采を受けていました。

また、会場ではデイサービス

会員や身体障害者などの手芸品も展示即売され、福祉大会の一日を楽しんでいました。

大会で表彰された方々です

優良高齢者 大豊町長表彰

東庵谷 吉村繁美 八三歳

西峰 平石春實 八三歳

八川 小松一 八三歳

大久保 氏原秀盛 八三歳

栗生 小笠原定子 七五歳

社会福祉功労者 会長感謝状

西豊永 吉野川九人会

船戸 中西盛興

高額寄付者 会長感謝状

怒田 三谷 裕

嶺北建設業協同組合

福祉活動推進校の発表から

「抜粋」

「私達にできる

ボランティア活動」

大切なことは、思いやりの心と、それを行動に移すことです。お年寄りに出合ったら元気よく、あいさつし、困っ

発表する東豊永小学校五年生、三谷裕子さん



ている人を見たら助けてあげるようにしたいです」と三谷裕子さんの発表がありました。

「おもいやりの心について」

藤原絵理さんは、一人暮らしのお年寄りと、暑中見舞などの交流をとおして、或いは障害をもつ友達との係わりの中から、「ふだんの生活におもいやりの心」をもつことの大切さを知りました。それは人の気持ちを理解する時にも、自分の気持ちを人に伝える時にも、思いやりは目に見えない力となって、大切な役割を果たすからです、と発表



大杉中学校三年生、藤原絵理さん

熱演二十二組

演芸大会から

午後の演芸大会では、歌あり踊あり浪曲ありのバラエティーにとんだプログラムで開催され、その一つに昨年九月に開設され多くのお年寄りが楽

しんでいる、ディ・サービス参加者（東豊永地区）二十七名によるコーラスの発表がありました。これは、月一回のディ・サービスの趣味の時間



ディ・サービス、3グループ及び延寿会々員のコーラス



「武田節」を熱演する

天坪長寿会 岡林千年さん

に「お腹から思い切って大声を出すことも健康の秘訣」とのことだ始めたそうです。お揃いのスタイルで若返り、「延寿会の歌」や「月の砂漠」、そして、先ごろNHKで公募の「心の中のうた」で一位に選ばれた「赤とんぼ」を台唱して、メンバーにとって最高の晴舞台となりました。



「大利根無情」を踊る
杉長寿会 永松亀喜さん



めでたづくしを踊るボランティア（川井、落合）



客席からの（おひねり）に「まあまあ、すまんね」と出演者

大豊町消防団操法大会

優勝 大田四分団 大田四部
準優勝 東部分団 岩原部
第三位 落合分団 落合部



操法開始、緊張の一瞬

消防団員の士気の高揚と技術の進歩充実を目的として、夏季演習操法大会が、去る八月六日、川口南広場に於いて実施され、町内各分団より十五チーム約三百名が参加し、炎天下の中、日頃練習してきた技とチームワークでキビキビとした動作で競技が行なわれ

れました。

そして、上位三チームが九月十日、本山町で行われた第十八回嶺北消防団連合大会に出場、東部分団岩原部が三位に入賞しました。

また、両大会には、昨年全国大会に出場した大久保婦人消防隊の操法披露、そして新設した大豊町消防団ラッパ隊も出場し、大会を盛りあげました。



操法審査

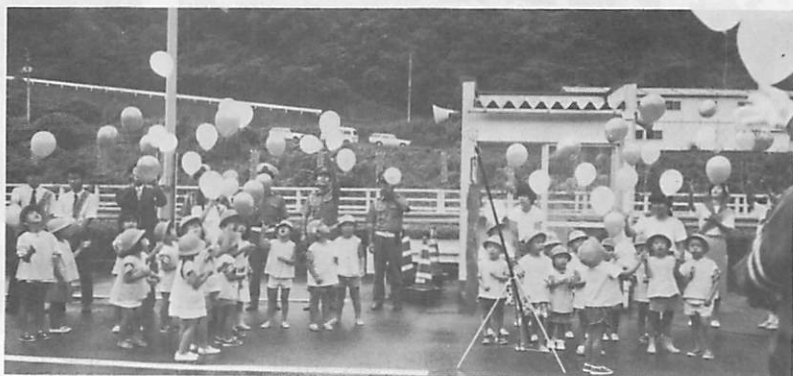
みんなで進める交通安全 全国キャラバン隊 大豊町でメッセージ伝達

さる、八月二十八日、愛媛県境から引継がれた交通安全キヤンペーン全国キヤラン隊は、高知市を経て八月三十日大豊町を訪れ、水野総務長官のメッセージ伝達が、大杉検問所前で行われました。

伝達式には、渡辺盛男町長をはじめ、交通安全母の会々員、町職員、保育園児らの約百人あまりが参加、町長あいさつの後、メッセージが伝達された。その際、町職員の岩原安春さんが、手塩に掛け



全国キャラバン隊
メッセージ伝達式



交通安全みんなの願い、
保育園児も参加

て育てた「スズ虫」百匹あまりが、キャラバン隊に贈られた。今頃あのスズ虫は東京の空の下で秋を奏でていることだろう。最後に参加者全員が大空に風船を飛ばして、交通安全を祈った。

母の会の皆さんは、一時間あまり乳酸飲料をドライバーに配付、一部の会員は徳島県境の伝達式会場まで、キヤンペーンを実施して、当日の行事を終了した。

第32回 金婚式典

「金婚・長寿婚 おめでと〜ございます」

永年、喜びも悲しみも共にし、このたび金婚式を迎えられたご夫婦を祝福する式典が、去る九月一日、県下の六会場で盛大に行われました。

馬瀬 岡林良治 美佐子
西峰 三谷 豊 末美

立川 長野七太郎 延子
和田 田内孝仁 利恵
和田 原久吉 艶恵
大下 小笠原正光 美津子
高須 永野速水 キミ子
○長寿婚の該当者です(申し出による)八十五歳以上のご夫婦

永淵 北村源栄87 亀千代85
同 北村英盛89 尚之85
同 高橋高盛91 野知恵86
八畝 笹岡清一86 年子86
寺内 松浦信意87 艶恵85
上東 三谷正忠89 鹿尾85
庵谷 白石 昇87、由久86
同 西谷 茂85 春女86

日浦 小笠原勝市85 竹女85
以上の方々には記念品などが贈られ長寿の祝福をうけました。
皆様方には、今後ますますお元気で長寿とご一家の繁栄をお祈りいたします。

また、本年は高知新聞創刊八五周年を記念して、八五歳以上のご夫婦の長寿婚(九組も併せて、お祝の式典が行われました。

○本年、金婚式を迎えられた(申し出による)十六組の方々です。

梶ヶ内 小松忠一 千鶴子
杉 徳弘繁義 久尾
杉 並川長水 春
磯谷 三谷盛親 鶴亀
安野々 上村泉明 武子
穴内 吉川武福 繁野
西川 山中加代松 道子
上東 山西邦利 茂美
大滝 門田美雪 久野

新しい家族 夫婦で子育て

東京都立大学教授・心理学

詫摩 武俊

わが国のいまの高齢者、近いうちに六十五歳になって高齢者の仲間入りをする人は、多分次のような状況におかれることになります。

第一は高齢者の増加があまりにも急速なために、福祉の対応が追いつかないということです。第二は従来の三世代家族が、徐々に減ってきているという事実です。外国に比べれば、まだまだ孫と一緒に暮らしている老人は多いのですが、老夫婦だけで静かに暮らす人、あるいは一人で暮らす人が増えています。第三は現在の日本の青年たちは、自分の年老いた親を養うことに

★幸せに年をとるために★

関して非常に消極的です。これは一九八七年の世界青年意識調査の結果で、「どんなことをしてでも親を養う」と述べた青年が二五%程度で、調査対象十一か国の中で十位でした。アメリカでは五二%、フランスでは五六%、西ドイツ

生活に張りや意欲があること、自分が愛する人・自分を愛してくれる人がいること、これらが老後の幸福とかかわりのあることだと思います。体の機能は、使用しないとどんどん衰退します。ますます歩くことです。指先を含めて、体全般をよく動かすことが大切です。単調で受身的な生活は続け、自ら判断して決定

になっっていることが望まれます。そして、いい仲間をもっていることが大切です。同性で同時代の人、しかも職業上のライバルでない人がいいでしょう。価値観や感じ方に、世代共通のものがあるので

自分が愛する人もいない。自分を愛してくれる人、自分を信頼し、あてにしてくれる人がいないのは不幸です。そのような人は、自分の体の不調なことばかりを話題にするよつになります。だからあてにされなくなってしまうと、老いは速く進行してしまいます。成人した子供を、最も親しい人になれるお年寄り

でも三二%が、どんなことをしても親を養うと答えています。世界でも有数の長寿国になりましたが、孫に囲まれて過ぎてお年寄りの数は少なくなりそうです。

体が健康で、とくに移動能力が衰えないこと、ほげないこと、いい仲間がいること、



「あすの山村みちしるべ」

(大豊の現実と農産業の将来は)



調査報告する鈴木教授

山村地域の農林業振興の展望と道筋を地域づくりの観点から探る県の新規事業「あすの山村みちしるべ」策定事業が二カ年計画で県下八ヶ市町村を対象として調査が進められている。この事業は、農林業だけでなく地域全体の課題を調査し、自発的、主体的に地元推進母体を形成するのがねらいであり、実態調査方式により調査が進められている。以下は、大豊町での調査からの抜粋である。

調査団は高知短大 鈴木教授、県職員、町内農協職員、役場産業課職員ら一二名で編成され、一八集落(三四三戸)を

対象に六月の予備調査に続き八月二日から四日間本調査を実施しました。その報告会が、去る八月一〇日農工センターで行われました。

会には、町内の関係者(約一七〇名)が集まり、渡辺町長の挨拶のあと、調査団を代表して鈴木教授が三時間にわたる調査報告をしました。

参加された方々も大豊町の置かれている厳しい現状を踏まえてか真剣に聞き入っていました。

報告書からの抜粋

「農業生産の担い手の状況」

①農業専業の戸主の平均年齢が高く、その割に専業の率が四割弱と低い。逆に高齢者の割に山仕事などの日稼ぎの率が二五%と高い。

②主婦が農業の中心的担い手で、六割が専業。八四%が何らかの形で農業に携わっている。二割近くは日稼ぎに出ており働き者が多く、婦人の地位が相対的に高い。

③調査対象三四三戸のうち長男で生産年齢に達している二

六四人のうち、地元に残っているのは四三人で、他は町外に出ており、しかもその六割が高知市を中心に県内に居住、この層にどう働き掛けるか、本町の明日を考えるうえで重要な課題だ。

④農業を手伝う嫁が多い。

「主な作目の状況」

①稲作は自家用が多く、高齢化で荒廃田が出始めている。

一方で野菜の導入により輪作の形で新しい水田の活用が見られる。

②養蚕は高齢化で減少傾向にあり飼育回数も減っている。

③県内のゼンマイは全町的に増えており、生産額で米に次ぐ作目。農協での販売額は米の九千七百万円に対し、八千余万円で業者との直取引を合わせれば倍の一億六千万円を上ると見られる。

④野菜は、ハウスが取り入れられて、作付体系がでぎ始まった。しかし農家同士が技術を互いに交流するという横のつながりが薄く、野菜作りが完全に地域に定着しているとは言えない。技術の定着が今後の課題である。

⑤ユスは、急速に栽培面積が増えている。品質評価は高い、一方で高齢化などで成木の管理が不十分になり、玉出し出荷が低下する面もある。

⑥肉用牛については和牛研究会が素晴らしい活動をしている。

「地域の状況と農家の気運」

①人口は、五六年以降、自然減(死亡が出生を上回る)が社会減(転出が転入を上回る)を上回っている。そして全体の人口が昭和三〇年の二万二千三百余人から平成元年当初には八千三百人台と六割以上が減少、高齢者比率は二七%台に増加している。

②集落の中での人と人との結び付きが弱くなった。例えば「昔は神祭を三日ぐらいやったが、今は形式的になった」「正月には集会所に集まり年頭のあいさつをしていたが、四年前からは、せっかく子供が帰って来るから正月は家族だけで」と集まりをやめた」と言う声もあった。

③「これから山の境界を知っている者がいなくなるので

は「一人残ったら道役を一人でやらなくてはいいかんが、とてもできん。今から心配だ」。

④跡取りに対する親の気持ちの一例として、「高知にいる長男には帰ってもらいたいの、次男には高知に家を建ててやったが、長男には建ててやらない」「子供は定年になれば帰ってくる」と言いが、それまでもつだるうか。

⑤こうした一方で、「子供の将来を考えて農業の経営規模を大きくした」「子供に残してやるものと、ハウスを始めたが、子供にもこちらの思いが通じているようだ」と前向きな方向も、親としてどう生きるかを問われているのではない。

⑥さらに、「ゼンマイの共同加工を考えてはどうか」「集落で野菜を作って、話合いができるようにしたい」「野菜は栽培できても車の運転ができないので出荷ができない人がいる。何とか集落の中で共同出荷できるようにしたい」「など、地域のまとまりや働く場を作ろうと言う気運が芽生えている大変重要な提起だ。

そして、いくつかの集落で

は地域作りの実践が始まっている。



熱心に聞く参加者

「基本的課題と提案」

以上、見てきたように集落が壊れている面がある一方で創っていく動きがある。

地域づくりを考える時、マ

イナス面ばかりを見ては駄目だ。大豊町は底力を持った地域だ。住民の多くは何とかし

なければとの思いを抱いている。しかし、農業と地域を自分たち自身で創っていくとまとまった流れが住民の目に見えていない。これが目に見えるようにになれば、底力があるだけに大きな力になる。その意味で、大豊町は人づくりの段階に入っている。

今回の地域調査に当たった地元の中心的メンバーが肩書を外し、長期的な地域づくりの母体になる。そして、一定期間を置きながら地域の変化や発展を総括し、さらに教育委員会等の協力を得て年一回は地域づくりに向けての学習会を開く。人づくり＝教育、とりわけ社会教育面での協力が大事。こうして「産業と教育」が一つになって取り組めば、これは大きな力となる。

そして、地域づくりの母体が生きて生きとしてくれば、農家が生き生きとしてくる。そこで生まれた要求を自信を持って行政に示す。地域から生まれた要求を県の施策に結びつけることができる。

そこに今回の事業の大きな意義がある。

報告書の最後に 鈴木教授

は、このように締めくくった。明日から即地域が変わるわけではない。今から明日を変えるための取り組みを始めよう。十年、十五年かかる思

社会の変化への対応

いま、なぜ生涯学習が必要だといわれているか

きのう新しかったことが、明日は古くなっている――最近の技術革新の進歩、国際化の進展などからも分かるように、社会の変化のサイクルはますます速くなっています。

一年間に起る社会の変化は、江戸時代のおよそ三百年間の変化に匹敵する、といわれるほどです。

このような時代に生きるわたしたちは、絶えず新しい知識や技術を身につける必要に迫られます。例えば、仕事の面を考えてみても、学生時代に身につけた知識や技術だけでは、変化の激しい仕事や新しい分野の仕事に適応していくのが難しくなってきたからです。

一方、高齢化社会への対応という側面も見落とせません。『人生八十年時代』という

の長い取り組みだが、これまでの蓄積、現状をきちんと認識し、少しでも背伸びをしてできるところから一歩ずつ進めていくことです。

のは、退職後、子育て後の人生が、それだけ長くなったことを意味します。

その長くなった老後を、張りのある充実したものにするためには、生涯にわたって学習し、社会の変化に取り残されないよう自分自身を育てていく必要があるのです。

しかし、毎日の生活、とりわけ余暇時間をただ漠然と受け身の姿勢で過ごしていたとしたら、いざ長い老後に直面したとき、何もできず、あるいは何をしたらいいのか分からず、とまどってしまいかもしれません。老後を生きていくをもっと過ごすためには、学習でも趣味でもスポーツでも、積極的に取り組んでいく姿勢をもつことが大切なので

嶺北農畜産物品評会

大豊町が最優秀賞独占

九月九日、土佐町に於いて嶺北農畜産物品評会が行われました。

この品評会は、嶺北地域の農畜産物や特産加工品などの振興と地域情報交換、相互の交流をはかる目的で、今回初めて、嶺北地区農協間協同運営協議会などの主催により、園芸、畜産、特産加工品の三部門に分けられて開かれました。大豊町から参加され、入賞された方々です。



品評会 園芸の部審査

○園芸の部

県知事賞

信高義弘 ホウレン草

大会会長賞

西村克巳 ジャンボピーマン

三谷美智子 ミニトマト

県園芸連会長賞

佐々木住雄 シシトウ

高知青果市場賞

大石秀子 ホウレン草

○畜産の部

県知事賞

大利三男 第七五みはる号

入賞

三谷勇亀 はつふじ号

○特産加工品の部

県知事賞

東庵谷生改グループ

ジャンピージャム

大会会長賞

農協婦人部 大利 愛

山菜スタミナ漬け

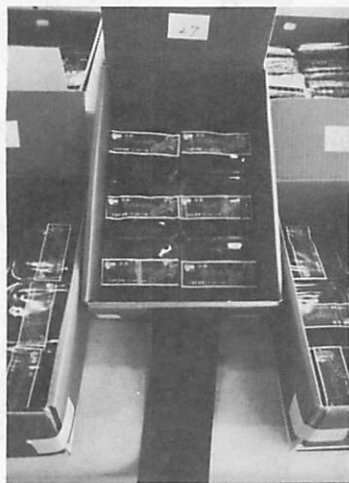
以上の方々が入賞されました。日頃の研究、努力に対する敬意を表しますとともに、各地域での産業の発展育成にご協力下さいますようお願いいたします。



県知事賞 ホウレン草



県知事賞 みはる号と大利三男氏



県園芸連会長賞 シシトウ



県知事賞 ジャンピージャム



大会会長賞 ミニトマト

県肉用牛協会長表彰

西庵谷三谷清子さん

受賞する



表彰を受ける三谷清子さん

多年にわたって、肉用牛に対する婦人の献身的な愛情と、きめ細かい飼養技術により、地域畜産農家のレベルアップと畜産の振興普及に貢献されたことが評価されて、八月十七日、佐川町で開催された「高知県肉用牛研究大会（会長 岡村聡次郎）」の席上で会長より表彰されました。

営農バス事業実施

「特産物の振興」

本町では、地域内の特産物の振興を図るため、重点振興作物（トマト、ホウレン草、柚子）などを定めて、その振興を計り、これらに対する施設等の整備を順次行なっております。

こうした事業により整備された農家や各施設などの視察研修を行ない、農家の資質の向上と町内各農家の実情などを広く知ってもらうため、西峰、立川地区を巡回する、営農バスを、九月十一日から四日間実施、百三十名余りが参加しました。

参加者たちは、本町の農業



営農バス農協出荷場での研修

のあり方などを話し合ったり、お互いの情報交換の場としても意義ある研修ができたのではないかと思います。



ワサビ栽培の説明を熱心に聞いている参加者

◎農業冊子の「あっせん」

こうち二十一世紀をひらくくらしと農業

県内の農業者、農業の研究機関などからの農業情報、近年の農業技術、生活環境などを綴った全百四十ページ程度の冊子が高知県農業改良普及協会から、年間購読料二千円で年四巻発行されています。購読希望者は、嶺北改良普及所大豊支所又は町産業課まで申し込み下さい。

第九回大豊町産業祭

大杉しめなわ祭り

うまい物祭り

開催

来る十月二十一日、（土）二十三日（日）の両日、大杉小学校と大杉駐車場周辺において開催されます。

その内容は、

園芸、蒔、しいたけ、のコンクール、特産物料理の展示、バーベキュー、しし汁の販売、未使用品のチャリティーバザール、町の観光地パネル展と植木賞作家「野坂昭如」氏による「農村は必要ないのか」と題した講演会を計画しています。

また、日本一の大杉祭りは、ジャンボしめ縄の締め替え、奉納モチまき、郷土芸能、チビッ子ゲーム大会、デッカイ物大会などを計画しています。うまいもの祭りでは、農産物や海産物の即売なども行われ、盛りたくさんのイベントが予定されています。ぜひ、皆様方さそいあっておいで下さい。

第十八回嶺北畜産能力共進会について

（お知らせ）

平成元年度の嶺北地区畜産能力共進会が、次の内容で開催されます。

記

一、期日

平成元年十一月十二日

午前十時より

二、場所

土佐町土居 嶺北家畜市場

三、出品要領

出品家畜は、三ヶ月以上で出品者が飼育し登記登録を有するもの、

種目、

子牛の部、育成の部、未經産の部、経産の部、改良群の部、

当日は、牛肉の即売やバーベキューなども行われる予定です。多くの方々さそいあって参加下さい。

詳しくは、役場産業課又は農協普及所にお尋ね下さい。



子供キャンプ大会

(楽しく遊び学んだ二日間)



レクリエーションをたのしむ子供達

恒例のこともキャンプ大会を、去る八月四日―五日の二日間、県立香北青少年の家で行いました。

このキャンプ大会は、町内



飯ごう炊飯、なかなか火がつかない

の小学四年生以上の児童を対象に町教育委員会が、毎年夏休みに実施している行事で、海水浴などもあって、子供達に大変人気があり、児童四十名が参加しました。

現地に着くと、六班に分かれて、テントの設営や楽しい野外レクリエーションなどを行いました。

夕方は、各班ごとに飯ごうでごはんを炊き、焼肉などで楽しい夕食をとりました。

中には、焼肉が目当てで参加していると言う男の子もあり、みんなお腹いっぱい食べていました。

夜は、キャンプファイヤーを行い、班長から各自のトーチ(たいまつ)に分火され、大きな火の輪ができ、子供達も感激、各班の寸劇、クイズ、ゲーム、最後は花火もあって、たのしい一日目でした。

翌日は、手結海水浴場に移り、目印の赤帽子をかぶり、屋過ぎまで泳ぎ午後、全員無事帰ってきました。

今年は、天気恵まれ一泊二日の共同生活の中で、キャンプ場の奉仕作業(草ひき)もあって、小学校高学年とし



キャンプファイヤー



喜び泳ぐ子供達

てのリーダーシップを養うことができたと思います。ボランティアの「浜田豊高、小林康夫、森 一芳、山



滑車で遊ぶ



テントの設営と草とり作業

中浩美さん方々には指導者として、大変お世話を頂きありがとうございました。

美しい花園づくりにいそしむ

黒石部落 小笠原雄吉さん

大田口駅より東に二百m位の県道沿いに昭和六三年度県下でも初めての透水性大型タイルのカラー歩道が完成、地元民や小、中学生の通学路に大変喜ばれている。

この歩道の側溝に沿って、コンクリートのテストピースの試験済みのものをもらって集め、順次並べて土留枠とし、中に肥えた土を入れて、歩道に支障のない背の低い花を植え、立派な花壇が延長されている。



花の手入れをする小笠原さん



テストピースを並べ花園をつくる小笠原さん

また、草刈り除草、施肥なども自費で、管理も行き届き、素晴らしい公園のような花の道として通行する人々の心を和ませています。

小笠原さんは、永年地区の保健衛生班長としても活躍され、老人クラブなどでも常に率先して、地域の環境の美化に取り組んでおられ、模範的な老人です。

尚、この原稿は、地域の方からご投稿を頂きました。ほのぼのとした話題がありましたら、ご投稿下さい。

ふるさとへの ひつじつ

高知市在住(久寿軒出身)
大豊会副会長 西岡 万平

郷里を離れて三〇年「ふるさととは、遠くに在りて思ふもの」とまでは言えなくても、三五年間住み馴れ、しかもそのうち三分の一を小学校教員として勤務したこともあって遠くはなれても、こよなく郷里を懐かしんでいる者の一人です。

さて、私は昭和五八年三月末に、公立学校教員を退職後、六年間、交通安全教育を中心として、「幼児教育」に微力をささげてきましたが、本年四月からは「あつたか高知」へ

県外のお客さんを迎え、海あり、山あり、龍馬あり、まっこと土佐はええ国せよ。の実感をもってもらうために、「土佐観光ガイドボランティア協会」の一員として、県内の名勝、史跡などをお客さんのニーズにあわせて紹介しておりますが、特に「日本一の大杉」「日本三薬師の豊楽寺」をPRしております。

そこで、提言と言つほどのものではないませんが、郷里大豊町発展のための一助になればと思ひ、一人ごとをつぶやきます。高速道が川之江に通じますと、ほとんどが大豊インターは素通りになりましよう。これを最小限に食い止めるには、観光面での目玉商品が欲しいものです。

そのため前記のほかに、立川番所、季節によつては福寿草の里へ誘ひ、さらに霊峰梶ヶ森からの展望とあわせ、登山口の長静の岸に四季おりおりの花を咲かせて、屋形船でも浮かべ憩ひのひとつを過ごさせるための施設、設備を充実して、県外はもとより県内からも目を向けられる大豊町であつてほしいと思うは、たわごとでしょうか。



梶ヶ森は秋の色です (梶ヶ森山頂)

「大豊の名水」

高知市在住(磯谷出身)
大豊会会員 森下平七郎

以前、アイデアマンで有名な神戸市長さんが、六甲山の水を、ミネラルウォーターと銘打って売出したと言つた記事を読み、「さすがアイデアマン」だと思つたことでした。

今は、地球的に環境問題が取り上げられる時代であり、また日本でも全国的に水質の汚染が進んでいます。それでも高知の水は良い方ですが、市内の水道水も時々カルキ臭いことがあります。だんだん汚れてきている証拠でしょう。

水は、このよつに人間の生命の糧です。ところが我が大豊にも名水があるのを「存じでしようか、それも有名な景勝の地にです。それは山荘「梶ヶ森」の水源地であります。四季かわることなくわきでるあの水こそ天然ミネラルウォーターではないでしょうか。

大豊も高速時代を迎え、何かと脚光を浴びてきましたが、町民の皆様のご一考をお願いしたく、ペンを取りました。

『長寿を喜ぶことのできる社会』の構築

「新たな高齢者像と活力ある長寿福祉社会を目ざして」の副題をつけて、去る二月に報告されました昭和六十二年版厚生白書は「現在、我が国は長寿という人類の永年の夢を手に行っている」とのべて男性では八二%の人が六十五歳を迎え、その六十五歳を迎えた人の三三%は、八十五歳を迎える。女性ではさらに高く、六十五歳を迎える人は九一%を起え、その五二%は八十五歳を迎えるという。いまや、人生百年も夢ではなくなつたとしております。

●平均寿命の国際比較

	国名	昭和30年 (1955)	昭和40年 (1965)	昭和50年 (1975)	昭和60年 (1985)	昭和61年 (1986)	昭和62年 (1987)
男 性	日 本	63.60	67.74	71.73	74.48	75.23	75.61
	ア メ リ カ	66.6	67.6	69.4	71.9	72.0	—
	イ ギ リ ス	67.52	68.3	69.6	71.61	71.80	—
	西 ド イ ツ	66.21	67.41	68.30	71.18	71.54	—
	フ ラ ン ス	65.04	67.8	69.00	70.86	71.52	—
	スウェーデン	70.49	71.60	72.12	73.79	73.97	—
女 性	日 本	67.7	72.92	76.89	80.48	80.93	81.39
	ア メ リ カ	72.7	74.7	77.2	78.7	78.9	—
	イ ギ リ ス	72.99	74.4	75.7	77.59	77.74	—
	西 ド イ ツ	71.34	73.22	74.81	77.79	78.10	—
	フ ラ ン ス	71.15	75.0	76.86	78.99	79.70	—
	スウェーデン	73.43	75.70	77.87	79.68	79.99	—

「健康」とは病気でないということではありません
—何事に対しても前向きな姿勢で取り組めるような精神、肉体、そして社会的適応状態をいうのです—

(WHO憲章より引用)

二〇一〇年の平均寿命

男性七八・八六歳
女性八五・九五歳

世界のトップクラスにある日本人の平均寿命は今後も順調に延びて、高齢化の速度がこれまでよりも一層速くなる傾向にあります。また高齢者のうち七十五歳以上の後期老年人口の増加が著しく、昭和六十年から平成二十二年の間、前期老年人口（六十五歳以上七十五歳未満）が総人口に占める割合は六・四%から一〇・八%（一・七倍）まで増加するのに対して、後期老年人口については三・九%から九・二%（二・四倍）に急増することが予想されています。これは、長生きを一つの目標とした時代の成果といつべきものであり、二十一世紀を迎える本格的な長寿社会を控えて、この長寿を人々が本当に喜べるものにするために自分自身の健康を守り、どの程度の活力をもつて過ごしていけばよいのか、それが今後の課題ではないでしょうか。

今日よりも、

明日を元気に、

家族の幸せは、一人一人の健康管理からと、言っても過言ではないと思います。

去る七月六日、大豊町保健班長会、健康づくり推進委員会、健康づくり婦人会、食生活改善推進協議会の合同による研修会が開かれました。

衛生班から、昭和六十三年度の事業報告や保健婦さんからは、各検診の重要性、活動状況の話などがあり、次の大会宣言しました。

宣言決議

一、私たち町民は、あらゆる検診を受け早期発見早期治療につとめます。

一、私たち町民は、バランスのとれた食生活をいたします。

一、私たち町民は、一日一日規則正しい生活をいたします。

一、私たち町民は健康づくり学習活動をいたします。

一、私たち町民は、健康づくり運動を推進いたします。

右宣言決議する

平成元年七月六日

大豊町健康づくり

推進会議

あなたは国民年金に加入していますか

国民年金に必ず加入しなければならない人は、日本国内に住所がある、20歳以上60歳未満の人たちです。

ただ、保険料の納め方などの違いにより、加入者（被保険者）は、下記の3種類に分けられます。「あなたは、どれに該当しますか、」

第1号被保険者

農業、自営業などの日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満の方。



国民年金に加入の届出をして保険料を納めなければなりません。加入の届出は、あなたの住んでいる町役場の国民年金の窓口です。

※病気、入院、失業、営業不振などで、所得がなくて保険料を納めるのが困難な人は、国民年金の窓口に申請してください。承認されますと保険料の納付が免除される制度があります。

第2号被保険者

厚生年金保険、共済組合に加入している方



国民年金に加入の届出は不要です。

保険料は、厚生年金保険、共済組合から必要な額だけ拠出金としてまとめて支払われますので、納める必要はありません。

第3号被保険者

厚生年金保険・共済組合に加入している方の扶養になっている配偶者で20歳以上60歳未満の方。



国民年金に加入の届出が必要です。

保険料は配偶者（夫または妻）の加入している年金制度でまとめて負担しますので、納める必要はありません。

届出書は、町役場、市役所国民年金の窓口にて用意してあります。健康保険証と配偶者の年金手帳、または共済組合員証、印鑑、本人の年金手帳を持参してください。

あなたは希望して加入、（任意加入者）することができます。



国民年金に加入の届出をして保険料を納めます。

加入の届出は、あなたの住んでいる町役場、市役所の国民年金の窓口です。

※当然加入しなければならない方が、加入届が来ると、将来受ける年金が減額されたり、年金を受けることができなくなるおそれもあります。もし、国民年金などに加入されていない方は、加入手続きをして下さい。

年金などについてのお問い合わせは、「役場 住民課 福祉班へ」

お知らせ コーナー

近ごろ、街で外国人の方をよく見かけるようになったと思いませんか。国際化が様々な分野で急速に進むなかで、国際交流については、国や地方自治体ばかりでなく、住民一人ひとりが果たす役割も非常に重要となってきました。

県では、高知を訪れる外国の方がホームステイを通して県民の皆様とふれ合い、お互いの理解を深められるように、ボランティアの受入れ家庭（ホストファミリー）を募集・登録し、住民レベルでの国際交流を積極的に進めていきたいと考えています。特別な資格や施設は必要ありません。土佐流のあったかな心でお迎えいただけるご家庭を募集しています。多くの方々の応募をお待ちしております。

※ 応募及び問い合わせ先
高知県国民休暇局計画推進課国際交流班
高知市丸ノ内一―二二〇
TEL〇八八八―二二二一
一―一（内線二二六三）

いま大切な民間社会福祉



思いやりはきつと返ってくる。

「助けあい」といった言葉が、いままた、よみがえっています。世の中が豊かになって、かえって孤独を感じるようになったからだという人もいます。また、高齢化社会がやってきて、お互いに助けあわないと大変なことになるからだという人もいます。そこでも、あらためて「助けあい」の共同募金が見直されるようになりました。私たちみんなが、もつと幸せになりたいという心を満足させるには、民間の助けあい資金が必要です。すでに赤い羽根の募金は「心の時代」を先取りして、幸せづくりに活用されています。助けたり助けられたり。あなたの思いやりは、きっと返ってきます。赤い羽根の募金が強く求められています。

赤い羽根募金 共同募金 10月1日～12月31日

検察審査会を ご存じですか

「あなたは、こんな場合どうしますか。」

詐欺、おとし、交通事故など、犯罪の被害にあつて、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。どうも納得がいかない。こんな不満を持っている方はいませんか。そのまま泣き寝入りをしないで、検察審査会にご相談下さい。

（検察審査会とは、）
クジで選ばれた民間人の代

表者である十一人の検察審査員が、検察官の仕事のやりかたを審査するための制度です。（仕事の内容は）

検察官のした不起訴処分、よしあしを審査するのが、おもな仕事です。

（申し立てについて）
検察審査会に審査の申し立てをするのは無料です。審査内容は、すべて秘密にされます。尚、検察審査会について、詳しく知りたい方は、次にお問合せ下さい。

○高知市丸ノ内一―三二五
高知地方裁判所内

高知検察審査会事務局
電話 〇八八―三三〇四〇

第19回嶺北総合美術展について （お知らせ）

恒例の嶺北五ヶ町村「総合美術展」が、下記の日程により開催されます。皆様方の傑作、力作を数多く出品されますようお願いいたします。

記

出品部門	絵画（洋画、日本画）書道、彫塑・工芸、写真、「作品は、自らの制作に限る」
作品受付	10月21日（土曜日）12時まで 教育委員会
審査日	10月27日（金曜日）大川村
展示会日	11月11日～13日大川村 11月17日～19日本川村 11月23日～27日土佐町 12月1日～5日本山町 12月9日～13日大豊町

尚、詳しくは、教育委員会におたずね下さい。

大豊町役場住民課福祉班

子
の
秘
密
少
し
覗
い
た
萩
す
き
赤
と
ん
ほ
す
い
す
い
と
生
家
な
し
ダ
リ
ア
折
る
タ
イ
ム
リ
ミ
ッ
ト
の
わ
た
し
の
恋
名
月
を
肴
に
据
え
て
酔
い
果
て
り
雨
の
月
今
年
も
だ
め
か
と
酒
を
飲
む
指
桶
で
髪
整
え
る
河
童
の
忌
ア
ス
フ
ア
ル
ト
焼
け
つ
く
街
で
原
爆
忌
ま
ま
ご
と
の
母
の
坐
き
ま
る
夏
陰
に
バ
イ
ト
少
女
の
直
立
炎
天
の
募
金
箱
初
な
り
の
瓜
の
不
揃
い
子
の
手
型
幼
な
子
の
鉄
砲
に
濡
れ
て
や
る
鎌
倉
き
み
え
秋
山
良
恵
吉
川
邦
子
西
岡
律
子
長
野
と
し
え
三
谷
幸
正
猪
野
博
文
猪
野
義
晴
松
浦
美
恵
杉
本
賀
美
徳
弘
妙
子
句
会
作
品
抄

やまびこ